

年上ボトムヒーロー
VS
年下トップヒーロー

山牧田 湧進



まえがき

【ご注意ください】

- この作品はフィクションです。実在の人物・地名・団体等とは一切関係ありません。
- この作品は成人ゲイ向け官能小説であり、男性同性愛を語っています。同性愛に嫌悪感を抱く方はご覧にならないよう、お願い申し上げます。
- この作品は表現の誇張、強調や、省略のある、必ずしも現実には即していないファンタジーであることをご了承ください。
- 特に作品中の性的描写は、現実の性交渉における性病等のリスクを意図的に排除しています。現実と混同しないよう、ご注意願います。
- この作品は想像して楽しんでいただくものです。現実との区別を付けられず、犯罪や迷惑行為に及ぶ危険のある方はご覧にならないでください。

【あらすじ】

うだつのあがらないプロレス団体に、かつて無い有望株が入団面接に来た。見た目も身体も申し分無し、しかも、俺のことを『憧れ』とか言ってくれる。即合格出したら、本当にうちに来てくれた。

短い練習期間でデビューにまで漕ぎ着けて、そこからもトントン拍子。

俺は正直、可愛いって思っていたんだけど、目つきの鋭さからヒーローに決まっちゃって、俺とは敵対する役柄になっちゃった。

初対戦でちよつとしたアクシデントが起こっちゃって、試合自体はなんとか盛り上げる方向で決着付けられたのだけど、あいつ、根が良い子だからさあ。泣きながら詫びてくる彼を宥めてやっていたら、うっかり彼の勃起に触れちゃって。

試合で興奮したのかと思ったら、俺に欲情していたみたいで、『憧れだけ

じゃない』って、そう言われたんだ。

【主な登場人物】

・ 藤橋 裕太（ふじはし ゆうた）

物語上の一人称「俺」。知名度が今一つである弱小プロレス団体の代表。正統派ヒーローの主役プロレスラーでもある。風貌が似合わないのでベビーフェイスとは標榜していない。本人評価曰く若干芋。あつちもこつちもゴロンゴロン。男好きであることが地味にバレていたりするが、今までは特に団体内やファンとの間に肉体関係が生じたことはなかった。お尻の恋人はおもちやで自己開発は十分に進んでいる。

・ 野辺院 誠太（のべいん せいた）

物語上の一人称「僕」。藤橋の大ファンで、入れ込むあまり入団面接

まで受けに来てしまった好青年。逞しい筋肉と衝撃を吸収するに十分な脂肪で格闘家として理想的な体型を保持している。特に身長は藤橋以上にある。顔も甘いマスクのハンサムで申し分無いのだが、目のすぐ上に庇のように出っ張る大きな額が目つきを悪く見せてしまうことが多く、団体でもヒールを担うことに。リングネームは『フランク狩断印』。もちろん、本人が付けた名前ではない。根が優しく誠実であるため、一所懸命頑張っているのだが……。

【目次】

第一章	期待の新人……………	7
第二章	流血アクション……………	12
第三章	泣きながら欲情する奴……………	26
第四章	試合後の場外乱闘……………	39
第五章	真のヒーローが顔を出す……………	55
第六章	やっぱり可愛い年下……………	82

第一章 期待の新人

紛れも無く良い子だったんだよ。

なんで、わざわざうちの団体なんかに入団希望して来たんだろうか？ っつて、不思議に思ってたくらいさ。

派手さがあるわけではなかったけど、プロレスラーという観点で見れば全く非の打ち所が無い美形だった。

あ、美形って表現はおかしいかもしれないがな。

身体が大きくて、でも、俊敏性を損なうほど大きくはなくて、体型も良い感じのマツチョ逆三角形＋脂肪で格闘家の理想形。肉感も迫力も十分にある。整った顔しているんだけど、ちょっと挑戦的な目つきをしているんだ。

鋭く睨み付けるような目、って言うのかな。

これがもうちよい甘いマスクだったら、正統派のヒーロー役として期待ができそうだと思うのだけど、この目つきならヒーロー（悪役）かなあ？

あ、俺んところではベビーフェイスとは言わないんだ。ベビーフェイスと言えりするような顔を持つ奴が居なかったりするもんだからさあ。だから、ヒーローっ

て言葉を使っている。ヒーローとの対比でね。

話を戻すと、目つきではヒーロー確定なんだけど、話している声質が凄く優しいんだよなあ。温和なんだよ。紛れも無く良い子。

俺のことを『憧れ』とか言ってくれちゃったりしてさあ、社交辞令でも、面接時のみの特別仕様だとしても、悪い気はしないよ。

これ、俺、個人的かつ特定の出会いだったら、手え出しちゃうね、確実に。

逸材であることは間違い無いところなんだけど、なんか、これ、内定出しても、他受かっちゃって、うち蹴られちゃうんじゃないかな、って気もしたんだ。けど、うちからしたら、喉から手が出るほど欲しい人材であることには変わりはないので、即合格判定を出したんだ。

「うちの団体でも良ければ、すぐにでも来てください」

「い、良いんですか？ 本当に？ あ、ありがとうございます！」

あれ？ 嬉しそうに綻ほころんだ顔は普通に甘いマスクで、目つきの悪さなんてど

こにもなかった。もしかして、緊張してたのか、あるいは、頑張ってる顔作ってたのかな？

あ、それとも、見る角度にも拠るのかな？ 少し下の方から見上げる感じで見ると、目つきの悪さは全く伺えない。

目力は相変わらずで、活力にみなぎ漲たかっていることが良く伝わってくる良い目だ。眉も眉間も含め額の頭蓋骨が目のすぐ上から結構はつきりと出っ張っているもんだから、見る角度によっては必要以上に目の輪郭がキツイ角度にトリミングされて、睨んでいるような目つきに見えてしまうだけなのかもしれない。別の言い方をすると、単に彫りが深いだけなんだろうね。強い目力と深い彫りで厳しい目つきに見えがち、と。いや、でも、目の下側は別に普通なので彫りが深いってのはちよつと違うか。

いずれにしても、これは、思った以上かも。

基本ハンサムだし、普段はキツくて鋭い、近寄り難い目つきなのに、たまにこうして見せてくれる綻んだ顔はやけにキュートだ。

人気出るよ、彼。

俺だって、キュンってきちゃったもん。合格判定出す前よりも、もっと好きになっちゃったもん。

とはいえ、彼が来てくれることになったとしても、仕事仲間以上の間柄には成れないんだろうなあ。

なにしろ、俺、彼にとっては『憧れ』だって話だからな。

距離縮めにくいよな。ゲスいこと言っちゃうと、できることなら彼とは即やりできる環境で会いたかったよ。

年上ボトムヒーロー vs 年下トップヒーロー

Author 山牧田 湧進
(Yamakida Yuushin)

Circle Gradual Improvement

URL gi.dodoit.info

個人で楽しんでいただく作品です。

個人の使用範疇を超える無断転載やコピー、共有、アップロード等はしないでください。

(こちらは体験版です。)